

今年には厳しい残暑が続きましたが、みなさまの体調はいかがでしたでしょうか。これからは季節の変わり目となり、アレルギー疾患にとっては注意が必要な季節ですね。

前回の講演会はいくくの大雨でしたが、たくさんの方にご来場いただきました。まだまだ人知れず悩みを抱えている患者さんが多いのだと感じます。お一人で悩むだけでなく、患者同士助け合いながら、疾患について理解していけたらと思います。

専門医の先生方の講演では、常に新しい発見をされることでしょうし、Q&Aは、今まで質問できずにいた悩みを相談できる良いチャンスです。ほかの患者さんの質問など大変参考になります。

また、今回は友の会のボランティアスタッフによる実演がごさいます。これからの治療に役立つ内容になっておりますので、ぜひお越しください。

ぜんそく・アトピー性皮膚炎 講演会とQ&A

賢い患者になるために

—エビデンス(科学的根拠)のある治療を学ぶ—

主催 NPO法人 日本アレルギー友の会

後援 財団法人 日本アレルギー協会

日時 平成22年10月31日(日)
12時30分～16時(開場12:00)

場所 東医健保会館ホール
東京都新宿区南元町4番地
☎03-3353-4311
《JR信濃町駅下車徒歩4分》

入場無料

参加申込・お問合せ

NPO法人 日本アレルギー友の会

☎03-3634-0865 FAX 03-3634-0850

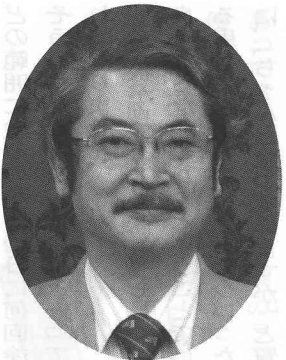
Eメール j-allergy@nifty.com

(毎週火曜日・土曜日 11時～16時)

10月25日～30日は毎日受付)



NPO法人
日本アレルギー友の会
〒135-0002
東京都江東区住吉2-6-5
インテグレート村上3F
TEL 03 (3634) 0865
FAX 03 (3634) 0850
http://www.allergy.gr.jp/
mail j-allergy@nifty.com
郵便振替 00130-6-109985
編集発行人 堀内 繁



幸野先生

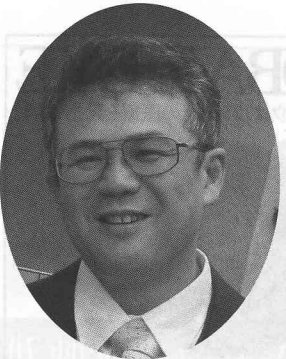
★気管支喘息のコントロール状態の評価
国立国際医療研究センター 国府台病院
呼吸器科 放生雅章先生
気管支ぜんそくの治療は大幅な進歩をとげましたが、医師の説明不足や、患者側の間違っ
た思い込みから、両者の認識にギャップが生

★アトピー性皮膚炎治療の科学的根拠
日本医科大学皮膚科准教授 幸野 健先生
ご自身の使っている薬がどのようなものであるかをきちんと知り、納得して治療を受けることがアトピー性皮膚炎では非常に重要なことです。「科学的根拠(エビデンス)」と聞くと、素人には理解できないように感じてしまいかもありませんが、今回は幸野先生が、難しくないので、わかりやすくお話しさせていただきます。

第一部 講演

《プログラム》

- ◆目次◇
- ステロイド外用薬を正しく理解し、上手に使いましょう①……………(2)
 - 医師と患者のパネルディスカッション「患者の心理」(ぜんそく編)……………(4)
 - アトピー性皮膚炎体験記……………(5)
 - 「間違った情報に振り回されて」……………(6)
 - 顧問の先生からのメッセージ①……………(8)



放生先生



第一部 講師を囲んでのQ&A
それぞれの疾患に分かれ、参加者からの質問に先生方からお答えいただきます。普段主治医には聞けないことでも、お気軽にご質問できます。少しでも症状の改善につながることを思いますので、みなさまぜひご参加ください。
(担当 西野波江)

★実演「正しい診察の受け方」
良い例・悪い例
みなさまはいつもの診察を納得して受けられていますか？診察の受け方を少し工夫するだけで、あなただけの「名医」にめぐり会えます。良い診察の受け方、もつたいない診察の受け方を、友の会のスタッフが実演いたします。ご自身の診察の受け方がどちらなのか、一度見直してみる良いきっかけになるかと思

まれ、その結果として良いコントロールが得られないこともあります。患者自身が自分のコントロール状態を把握することが、賢い患者として医師と向かい合うために必要なことだと考えられます。